

(施策評価表53)

【施策番号IV-11-①-2】

取組みの方向性	百年の礎を築く	戦略	【戦略11】熊本都市圏の拠点性向上 ～将来の州都をめざします～	主な施策	◆拠点性を高める ～熊本型県・政令指定都市政策連携の推進～
			①州都をめざした取組みの展開		

1 取組内容	2 主な事業	担当課	H25予算(千円) H24決算(千円)	3 平成24年度の主な成果	4 平成25年度の推進方針・推進状況	5 施策を推進する上での課題	6 今後の方向性
<p>・ 県・熊本市・熊本大学・経済団体による「くまもと都市戦略会議」などで議論し、実践につなげていく、全国でも例のない「熊本型県・政令指定都市政策連携」により、「コンベンション誘致」、「阿蘇くまもと空港国際線振興」、「首都圏に向けた広報」などを進めます。</p>	首都圏広報強化事業	広報課	100,000 90,459	<p>・ 「くまもと都市戦略会議」において産学官で連携して取組みの検討を進め、熊本MICE誘致推進機構の設立につなげた。また、スポーツイベント、大型コンサート及び映画やドラマ等の制作に対する助成制度を創設し、スポーツイベント2件に対する助成を実施した。</p> <p>・ 阿蘇くまもと空港の国際線振興について、熊本市と今後の連携策について協議を実施した。</p> <p>・ 「くまもと都市戦略会議」の新たな取組みのテーマとして「首都圏とアジアに向けた“くまもと”の発信」を掲げ、“学都”を切り口とした新たな情報発信について検討。また、県市連携の首都圏に向けた広報事業で、これまでの人員協力に加え、東京ドームでのPRイベント等を共同で実施した。</p>	<p>・ コンベンション誘致について、助成事業を最大限活用し、本県へのスポーツイベント、大型コンサート、映像作品制作の誘致を進めていく。</p> <p>・ 阿蘇くまもと空港の国際線振興について、熊本市と今後の連携策について協議を継続していく。</p> <p>・ 首都圏広報について、「くまもと都市戦略会議」で「首都圏とアジアに向けた“くまもと”の発信」をテーマとしたアクションチームを設置し、広報戦略や発信ツールを検討・開発し、具体的な情報発信を展開する。また、引き続き県と市が共同で首都圏で行うPRイベント（例：中野ブロードウェイ商店街での魅力発信）等に取り組む。</p>	<p>・ コンベンションや大型コンサートの誘致については、施設の充実度、交通アクセス等に優る福岡市などと比較すると大きなハンディがある。また、熊本市以外の市町村とも連携し、アフターコンベンションの誘致等を行うことにより、県下全域に経済波及効果が及びよう体制を整備する必要がある。</p> <p>・ 阿蘇くまもと空港の国際線振興について、熊本市と更に連携を強めていく必要がある。</p> <p>・ 「くまもと都市戦略会議」の「“学都”のイメージが分かりにくい」などの意見に対し、再度発信するイメージやアクションチームの具体的な作業等を明確にし、産学官が連携してどのような情報発信が可能か検討する必要がある。また、具体的な連携した取組みの実施にあたり、県・市との情報共有を図る必要がある。</p>	<p>・ スポーツイベント、大型コンサート、映画のロケが毎年2回以上開催されている状態を目指し、市町村との連携体制を整備しながら誘致を進めていく。</p> <p>・ 阿蘇くまもと空港の国際線を活用したコンベンションの誘致や、県・市共同のトップセールスの実施を進める。</p> <p>・ 首都圏とアジアに向けた“くまもと”の発信等の活動が功を奏し、熊本の認知度が更に向上している状態を目指し、H27年度に東京事務所・広報課等への取材件数400件（H24末：183件）となるよう取り組んでいく。</p>
	阿蘇くまもと空港国際線振興対策事業	交通政策課	107,119 37,593				
	大型イベント等プロモーション事業	観光課	5,410				
	都市型観光推進事業	観光課	3,968				
	MICE等誘致促進事業	観光課	25,540 4,869				
<p>・ 拠点性の高まった熊本の地の利を生かし、福岡等への通勤・通学者にとって魅力ある「くまもと定住促進戦略」を打ち出します。</p>	※予算事業なし	地域振興課		<p>・ 市町村の魅力や定住施策等について対外的に発信するため、「移住・定住ポータルサイト」を設置しているほか、45市町村を個別に紹介した「くまもとくらす」を発刊するとともに、首都圏での移住相談会の開催及び福岡での移住フェアへの出展等を行うことにより、幅広く情報発信を展開した。</p> <p>・ 戦略策定に向けて、市町村の取組みの方向性、取組みを進める際の隘路及び市町村の期待する県の役割などについて把握するため、各市町村と意見交換を行ったことにより、戦略策定の方向性がより明確になった。</p>	<p>・ 「移住定住ポータルサイト」及び「くまもとくらす」を通じて、広く熊本の魅力をアピールし、移住希望者に対し本県を移住候補先の一つとして加えてもらう。</p> <p>・ 首都圏在住の移住希望者に対して、昨年度に引き続き、移住相談会を開催する。</p> <p>・ 市町村の意見を踏まえながら、今後の取組みの方向性を検討し、その中で、県の役割と市町村の役割を整理するなどして戦略をまとめる。</p>	<p>・ 本県では、地域づくりチャレンジ推進事業で各市町村の移住定住を促進する取組みへの支援と「移住・定住ポータルサイト」で対外的な情報発信を行っているところであるが、市町村によって取組みの方向性や熱意が異なり、統一したイメージ発信が難しい面がある。</p>	<p>・ まとめられた定住促進戦略に基づき各市町村で具体的施策が展開されるよう、意見交換や協議を進めていく。</p>
	主な施策のまとめ			<p>●「くまもと都市戦略会議」での議論に基づき、熊本MICE誘致推進機構を設立するとともに、スポーツイベント、大型コンサート等に対する助成制度の創設を実現。</p> <p>●熊本市と連携し、東京ドームでのPRイベント等の共同実施や阿蘇くまもと空港の国際線振興に関する協議を実施。</p> <p>●「くまもと定住促進戦略」の策定に向け、各市町村と意見交換を実施。また、45市町村を個別に紹介した「くまもとくらす」の発刊や首都圏在住者を対象とした移住相談会の開催等を展開。</p>	<p>●スポーツイベント、大型コンサート等に対する助成制度を最大限活用した誘致推進。</p> <p>●熊本市との連携による、首都圏向けPRイベント等や阿蘇くまもと空港の国際線振興に関する協議を継続。</p> <p>●各市町村と意見交換を踏まえ「くまもと定住促進戦略」を策定。</p> <p>●サイトおよび冊子を通じた移住希望者への熊本の魅力の発信や首都圏在住移住希望者に対する相談会を引き続き開催。</p>	<p>●市町村と連携したアフターコンベンションの誘致等の体制整備。</p> <p>●“学都”を切り口とした「首都圏とアジアに向けた“くまもと”の発信」に向けた、産学官連携による情報発信の可能性の検討。</p> <p>●阿蘇くまもと空港の国際線振興に向けた熊本市との連携強化。</p> <p>●移住定住の促進に関する統一したイメージ発信に向けた市町村との調整。</p>	<p>●スポーツイベント、大型コンサート等の毎年2回以上開催を目指し、市町村と連携した誘致活動を展開。</p> <p>●東京事務所・広報課等への取材件数がH23の2倍となるよう“くまもと”の発信を推進。</p> <p>●阿蘇くまもと空港の国際線を活用したコンベンションの誘致や、県・熊本市共同のトップセールス実施。</p> <p>●定住促進戦略に基づき、各市町村で具体的施策が展開されるよう意見交換や協議を実施。</p>